

まび野

(公財)岡山県郷土文化財団

2025. 初春 第171号



原撫松『自画像』 明治三十八年（一九〇五）

油彩・カンバス 六一・三×五〇・五cm（岡山県立美術館蔵）

第一三一号に『老人像』を紹介した原撫松（一八六六～一九二二）は、岡山藩士の長男として岡山に生まれました。岡山と京都で油彩画を学んだのち、岡山で肖像画家になります。児島の塩業家であった野崎武吉郎から支援を得ますが、やがてその技量を知られて上京しました。そして肖像画を深く研究するため、一九〇四年から〇七年まで英国に渡ります。

この作品は滞在二年目に描かれました。右から光を当てているので顔の左半分が見えます。絵の具を薄く丹念に何層も重ねているので光と影が対比的です。白いスタンドカラーのシャツ、そして黒いネクタイとスーツを着用。直視ですが穏やかな表情です。画家として、さらなる高みを目指しています。

この年一月にワッツ（一八一七

～一九〇四）の回顧展を見ました。ワッツを肖像画家として高く評価します。ほかにターナー（一七七五～一八五一）とホイッスラー（一八三四～一九〇三）の作品も見ました。ナショナル・ギャラリーなどで模写に励みます。六月に渡仏、展覧会や美術館の見学に明け暮れました。十月にロンドンで画室を借用してモデルを雇い始めます。原撫松は肖像画のほかに女性像やヌードも描きました。

留学後は体調を崩し、帰国の五年後に死去します。原撫松が制作した肖像画は一般に公開されることはなく、次第に世間から忘れ去られました。

没後の個展のあと、広く紹介されるのは、一九九七年に当館で開催した「原撫松展」です。

（岡山県立美術館主任学芸員 廣瀬就久）

目次

表紙説明	1
年頭にあたって	2
随想	3
祖父・日下輝道のこと（秋山貴美子）	3
岡山の人物	4
竹久夢二生誕百四十年を迎えて（小嶋ひろみ）	4
岡山の自然	5
高岡神社の「平安杉」（森 俊弘）	5
岡山の文化財	6
岡山県庁舎（前川國男による戦後庁舎建築の大作）（中野弘一朗）	6
わが町・わが村の自慢	7
城下スクエア（津山市）	7
ふるさとの想い出	8
元太郎と見守る八浜の町並み（玉野市）	8
文化財団ニュース	9
催しのご案内	10
会員だより	11
ご案内	12
岡山県郷土文化財団	13
元理事長 長野士郎	14

ご案内

第十七回

岡山県「内田百閒文学賞」 受賞作品決定

岡山県と文化財団の共催で、岡山にゆかりのある文学作品を募集した第十七回岡山県「内田百閒文学賞」の受賞作品が次のとおり決定しました。

令和六年十一月二十八日（木）の最終審査会では、応募作品三〇五編の中から第一次、第二次審査を経た十編について、最終審査員（小川洋子氏、平松洋子氏、松家仁之氏）による厳正な審査が行われました。受賞作品は株式会社大学教育出版から出版の予定です。

令和七年四月二十五日（金）には、最終審査をお願いした三人の先生方を迎えて岡山県立美術館の二階ホールで表彰式及び座談会の開催を予定しております。ご参加お待ちしております。

○最優秀賞

「泣き女」

寺田 勢司（大阪府）

○優秀賞

「へのへの茂次郎」

正田 ブン（東京都）

「アゲハの記憶」

山本 博幸（長崎県）

「郷土文化講座」開催

岡山の自然・歴史・文化等をテーマに岡山県立図書館で講座を開催します。多数のご参加をお待ちしています。

①二月五日（水）

「足守の陣屋と

戦国の山城」

岡山市立操南公民館

館長 高橋 伸二

②二月二十七日（木）

「竹久夢二生誕

140年をむかえて

「奇跡的に里がえりした

（西海岸の裸婦）」と

「アマリリス」

夢二郷土美術館

館長代理 小嶋ひろみ

③三月七日（金）

「鏡野町の自然と文化財」

鏡野町教育委員会

生涯学習課課長補佐

日下 隆春

「会員作品展」作品募集

令和七年度の会員作品展を開催します。今回から書部門を開設しました。

皆様のご出品をお待ちしております。詳細は文化財団事務局までお問い合わせください。

○会期

令和七年五月二十七日

（火）～六月一日（日）

○会場

岡山県天神山文化プラザ

第二展示室

○募集作品

絵画・写真・書・その他

お問い合わせ先

岡山県郷土文化財団

電話

〇八六一二三三―二五〇五

文化財団広報（第一七一号）

発行 行（公財岡山県郷土文化財団

岡山市北区表町一―七―十五

☎（〇八六）二三三―二五〇五

発行日 令和七年一月一日